会　　議　　録

会議の名称	第２回津軽広域水道企業団水道用水供給事業経営検討審議会
開催年月日	平成３０年１１月７日（水）
開始・終了時刻	午前１０時　から　午前１１時２０分まで
開催場所	津軽広域水道企業団管理本館２階　大会議室
議長等の氏名	会長　弘前大学人文社会科学部教授　飯島　裕胤
出席者	会長　飯島　裕胤 委員　大髙　重文　　須藤　勝美　　三和不二義 小山内功治　　一戸　隆雄　　對島　猛清 相坂　篤　　楠美　仁康　　佐藤　儀郎 髙橋　隆治　　杉野森登一
欠席者	なし
事務局職員の職氏名	事務局長　福士　洋一　　総務課長　乗田　幸夫 浄水課長　谷澤　諭　　総務課参事　千葉　亨 浄水課総括主幹　佐藤 克嗣、寺山 富士義、山田 章永、伊藤　久志 総務課主幹　小田切　峰 浄水課主幹　清野　真人、長内　一浩 浄水課総括主査　盛　吉明
その他の出席者	株式会社東京設計事務所東京支社 水道グループ水道第１チーム　上席主幹　園山　徹 同　主事　山田　陽平 同　主事　福田　紫瑞紀
会議の議題	・審議会のスケジュール等について ・津軽広域水道用水供給事業ビジョン改定（案）について ・建設改良事業計画（案）について ・水道用水供給事業経営戦略（財政計画）（案）について
会議結果	・水道用水供給事業ビジョン改定（案）等について、事務局より昨年度審議延期時点をベースにした修正案を提示・説明。 ・委員より出された意見を踏まえて修正したものを最終案としてパブリックコメントを実施する旨了承された。
会議資料の名称	資料１　水道用水供給事業経営検討審議会　概要 資料２　津軽広域水道用水供給事業ビジョン（案）説明資料 資料３　津軽広域水道用水供給事業ビジョン（案） 資料４　津軽広域水道用水供給事業建設改良事業計画（案） 資料５　経営戦略（財政計画）（案）説明資料 資料６　津軽広域水道企業団水道用水供給事業経営戦略（案） 資料７　アセットマネジメント検討報告書 資料８　津軽広域水道企業団津軽事業部水道施設耐震化計画（案）

会　議　内　容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	今年度人事異動により新たに委員となった３名に委嘱状交付（交付式は省略） １　事務局長挨拶 ２　案件（事務局説明） ①　本審議会のスケジュール等について ②　津軽広域水道用水供給事業ビジョン改定（案）（計画期間：平成３０年度～３９年度） ③　建設改良事業計画（案）（計画期間：平成３０年度～３９年度） ④　水道用水供給事業経営戦略（案）（計画期間：平成３０年度～３９年度　財政計画を中心に説明） 各委員との質疑応答は以下のとおり。 一戸委員（青森市） 津軽広域水道用水供給事業ビジョン改定（案）における「基本理念と理想像」について、基本理念の下に「安全で良質な水質の確保」「災害に強い水道システムの構築」「将来にわたり持続可能な用水供給事業の経営」を「理想像」として述べているが、それらは、どちらかと言うと水道事業者としてやらなければならないものだと思う。従ってこれは「理想像」というよりも「目的」という位置づけになるのではないか。 浄水課総括主幹 理想を掲げたうえで実際の中身をどのようにやっていくのかという構成にしているので、理想像という表現になっている。内容としては「目的」ということになるかと思う。 浄水課長 厚生労働省の新水道ビジョンでは、５０年後、１００年後を見据えた水道の「理想像」として安全・強靭・持続という３本柱の構成になっている。当企業団の水道事業ビジョン（案）もこれにならっている。 飯島会長 事務局の説明も分からなくはないが、理想像という言葉にこだわる必要があるのか。事務局に検討いただくということでどうか。 浄水課長 検討させていただく。

	一戸委員（青森市） 　パブリックコメントは答申前に実施するということだが、通常は審議会の答申を受けて、事業体の案ができて、それを決定する直前にパブリックコメントを実施して利害関係者の意見を反映させたものを最終的に承認、決定すると思う。答申案を作る前にパブリックコメントを実施する意図は何か。 総務課長 　パブリックコメントにより住民の方から頂いた意見を踏まえ必要な修正を行った上で答申案を作り、次の審議会で審議していただき、最終的に答申案を決定することとなる。住民の意見をいただいて答申案に盛り込むということで考えている。 飯島会長 　施設の更新費用について、資料２の「アセットマネジメント手法による投資試算」において、今後４０年間の更新費用は約６３８億円（年約１６億円）となっているが、資料４「建設改良事業計画（案）」の事業費との整合性が図られているのか。また資料５「経営戦略（案）」の財政計画についても、圧縮した更新費用を踏まえたものになっているのか。 浄水課総括主幹 　建設改良事業計画（案）の事業費額と実際の（アセットマネジメント手法による）投資試算とは合わせている。４０年間の投資試算のうち直近の１０年間分が建設改良事業計画（案）で示した金額となっている。経営戦略（案）の財政計画についても、同様となっている。 飯島会長 　水道事業ビジョン改定（案）の１７ページ、施設の老朽化を述べた部分の図「構造物及び機械電気設備の健全度の推移」について、（現有資産を）更新しない場合を示しており、更新していくと当然、こうはならないという理解でよろしいか。 浄水課総括主幹 　健全度について法定耐用年数を基準に考えた場合に、更新しなければこうなりますよというグラフとなっている。 飯島会長 　（現有資産を）法定耐用年数ではなく、企業団が設定した更新基準で更新した場合の更新需要を算定したときにどうなるのかなと。それから一番気になるのが実際に更新計画を進めていった場合にどうなるのかということだが、それについて何か資料があるのか。

	浄水課総括主幹 　管路に関しては、別に年度毎に詳細な計画はあるが、直近１０年間という期間では、更新した場合を表すグラフは作っていない。 飯島会長 　費用がいかに平準化されるのかという話とは別に、老朽化施設がどれくらい増えていくのかという視点で、費用をかけた時にどのくらい効果があるのかを示すグラフは作らないのか。（資産の老朽化が進み）このような危機感がありますよということを示して、実際にこのように更新していって、こうなりますよというものを示していただいた方がよいかと思う。 浄水課長 　おっしゃるとおり、効果を示すグラフもあれば良いと思うので、追加することで検討する。 一戸委員（青森市） 　資料５「経営戦略（財政計画）（案）」にあるグラフについて、アセットマネジメント結果をベースに４０年間の収支見通しを行うに当たっての投資・財政試算のグラフと思うが、実際には経営戦略は１０年間となっているのではないか。 総務課長 　財政計画について、１０年間のスパンのみでは長期の見通しが見えてこないため、４０年間の財政見通しを立てて、そのうち直近１０年間分を経営戦略に反映させている。 一戸委員（青森市） 　この場合、４条（建設改良費）のみでなく、３条（修繕費）も加えた投資なのか。 浄水課長 　財政見通しの試算については、３条（修繕費）も入っている。 飯島会長 　それでは、水道用水供給事業ビジョン（案）、建設改良事業計画（案）、経営戦略（案）について、若干出された修正意見について事務局で検討するという前提で、事務局案のとおり了承したい。 総務課長 　今回いただいた修正意見について、今後の対応として、審議会を開催するのか、それとも事務局と会長に一任で修正案を

	作成してよろしいのかを確認したい。 **飯島会長** 　一任させていただくこととし、委員の皆さんには何らかの形でお示ししたい。 **３　その他（事務連絡）** **総務課主幹** 　本審議会で了承していただいた水道用水供給事業ビジョン改定案、建設改良事業計画案、経営戦略案のうち、水道事業ビジョン改正（案）については、１１月２２日～１２月５日の２週間パブリックコメントを実施し、関係市町村の住民の方の意見を踏まえた上で、答申案を作成する。 　パブリックコメントを踏まえた水道事業ビジョン改定案、及び今回了承された建設改良事業計画案、経営戦略案について「答申案」を次回の審議会において提出させていただく。 　次回の審議会は、来年１月中の開催を予定している。 **－閉会－**
その他必要事項	・会議は報道機関に公開。 ・当日取材は２社（東奥日報、陸奥新報）